保証のしるべ

北海道信用保証協会
http://www.cgc-hokkaido.or.jp
2015年（平成27年）春号　季刊誌　No.645

維新 時代を証言する建造物

函館・五稜郭

元治元年（1864年）に完成した国内初の西洋式城郭。かつて海軍副総裁榎本武揚率いる旧幕府軍が篭り新政府軍と激しい戦闘を繰り広げた場所として知られる。現在は五稜郭公園として開放され、春には1,600本のソメイヨシノが咲き誇る桜の名所として知られ、市民、観光客の憩いの場となっている。

目　次 Contents

◆随想／人生旅なり「歩歩是道場」（ほほこれどうじょう）
空知商工信用組合 常務理事 本店営業部長　長谷川 幸寛 …… 2～3
◆平成27年度 優良店舗の選定基準について …… 4
◆平成27年度 新規保証キャンペーンのご案内 …… 5
◆パンフレットをご活用ください …… 5
◆経営安定関連（セーフティネット）保証5号の指定業種について …… 6
◆本店保証部および滝川支店の担当区域変更について …… 6
◆お知らせ 軽装を実施します …… 6
◆定例相談をご利用ください …… 7
◆『夜間経営相談窓口』のご案内 …… 7
◆平成27年度 年度経営計画 中期事業計画（平成27～29年度） …… 8～9
◆平成26年度 事業概況 …… 10～11
◆役員人事 …… 12
◆人事異動 …… 13～14
◆信用保証利用企業動向調査・統計資料 …… 15～

ESSAY
随想

人生旅なり「歩歩是道場」（ほほこれどうじょう）

空知商工信用組合 常務理事 本店営業部長 長谷川 幸寛

はじめに

当組合本店所在地の美唄市は、かつては北海道有数の炭鉱街として栄え、昭和31年4月には人口92,150人のピークを記録しました。昭和38年7月に三井美唄炭鉱閉山後、中小炭鉱の閉山が続き昭和47年4月には三菱美唄炭鉱も閉山、現在は一部で露天掘りが行われております。人口も23,892人（平成27年2月末現在）まで減少し農業が基幹産業となっております。

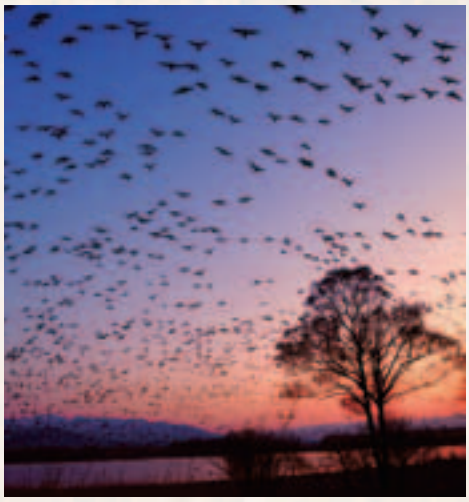
このような小さな街ですが、知る人ぞ知るみどころや観光スポットが沢山ありますのでご紹介いたします。

観光スポット

〈 アルテピアッツァ美唄 〉 アルテピアッツァとはイタリア語で「芸術広場」を意味しております。閉校した小学校を活用した屋外美術施設で世界的彫刻家である美唄市出身の安田侃（かん）氏の作品約40点が常時展示されており平成15年7月3日には天皇皇后両陛下も行幸啓されております。ここは「どこか懐かしくほっとさせる」空間があり、時間の流れを忘れさせてくれる私の一番のお気に入りの場所で気分転換したいときに訪れます。また四季折々のすばらしい景観や芸術に出会うことができる憩いの場所として外すことはできません。

〈 宮島沼 〉 日本国内で最北かつ最大のマガンの寄留地でラムサール条約に登録されております。早朝には6万羽を超えるマガンが一斉に飛び立つ（ねぐら立ちという）様子は圧巻です。夕方にはV字編隊を作って沼に戻ってくる（ねぐら入り）のも一見の価値があり、初めて見たときには何故か目頭が熱くなりました。間違いなく感動する風景でもう一度見たくなるはずです。ねぐら立ちの時間は、4月中旬～下旬は早朝4時30分ごろ、9月下旬～10月中旬は早朝5時30分ごろです。

アルテピアッツァ美唄



宮島沼

〈 東明公園 〉 ソメイヨシノやエゾヤマザクラなど約2,000本もの桜が広がる空知管内随一の名所で満開になった後には5,000本を超えるツツジが咲き誇り、満開の花を時間差で楽しむことができます。また秋には彩色豊かな紅葉が公園の池に映り素晴らしい景観となります。更に公園内にある展望台「スペース・カリヨン」からは1時間ごとに美しいメロディーが流れ、隣接している「ふるさとの見える丘展望台」からは空知平野を眺望することができ気持ちが晴れ晴れとします。春、夏、秋とそれぞれに趣があり、写真を撮りながら散策すれば満足いただけると思います。

〈 国道12号線 〉 国道12号線は、一直線道路が美唄市光珠内町から滝川市新町まで、計29.2Km続いている日本一長い直線道路で、オートバイや車を止め写真撮影をしている姿をよく見かけます。直線を結ぶ美唄市、奈井江町、砂川市、滝川市には当組合支店もあ

ESSAY 随想

東明公園

炭鉱メモリアル森林公園

り3市1町が協力し絆を強くして地方創生へのカギとなるアイデアがあればと切に感じております。

〈 炭鉱関連施設 〉 美唄では三菱・三井の2大財閥によって炭鉱が栄え、炭鉱メモリアル森林公園、美唄鉄道東明駅及びSLタンク機関車などがあり、炭都の記憶が蘇り哀愁を感じるところです。

〈 食 〉 さて観光の後は、「美唄焼き鳥」をご賞味ください。お薦めはやはり「もつ」でしょうか。

平成25年7月に当地にて「全国やきとりンピックinびばい」が開催された時には約3万人が来場、またテレビでも何度も取り上げられるなど今ではすっかり有名になり東京にも出店しているお店もあるほどです。

人生旅なり「歩歩是道場」

私の趣味は旅行です。学生時代と20代の時に道内のほとんどを旅行しており、以前から50歳になった年から道外旅行をすることを心に決め、今ではそれを実践して毎年出かけています。特に神社、寺院、仏閣など歴史探索が好きで（ちなみに妻は仏像を好む）、ツアー旅行も参加しますが「歩くたび」を好みます。行先は「歩いて」観るガイドブックや数多くの旅番組（BSテレビが良い）を参考に選択するため（心の）旅は1年前から始まっています。そして旅先ではガイドブックのお薦めコースのとおり歩いたり、ガイドブックに載っている写真がどの位置から撮影されているかを探し当て同じアングルで写真撮影をしたり、テレビ番組で放映したところを同じように（食べ）歩き、同じ場所や場面を発見することで旅の楽しみを倍増させることができます。

大阪岸和田にある旧家の玄関先にある刀傷が深く刻まれた柱がいつしか放送されたことがありますが、この刀傷を探し「歩く」旅をしてその場所を見つけたときも感動したものでした。また、倉敷美観地区では穴場の観光スポットや洒落たカフェなど2時間近くも案内していただいた人との出会いもありました。歩いた後のビールは格別で、道中や夜の食事で旅先のご当地グルメや郷土料理などを食するときは、至福のひと時で心も体もリフレッシュすることができ明日への活力となります。

好きな禅語に「歩歩是道場」というものがあります。特別な修行をすることはない。

日常生活のあらゆる場面、生きている一瞬一瞬、人生の歩みの一歩一歩が修行であり道場だというのです。旅先では思わぬ人との出会いや時には財布を落とすハプニングなど様々な出来事に出会うことができます。楽しかったこと、感動したこと、チョット困ったこと、歴史や文化に触れて考えさせられることなど多くの思い出や教訓が次の旅（人生）へのステップになります。これからも旅とともに時の刻みを楽しみながら歩んでいきたいと思います。さて今度は何を観に、どこに行こうかな。今年の旅はもう始まっています。

終わりに

美唄市には有名な観光スポットはありませんが、見どころ満載です。自然豊かで懐かしい少年時代を思い出し、ゆっくり歩いて散策すると新しい発見があるかもしれません。読者の皆さん、ぜひ一度美唄へお越しください。そして美唄での時の刻みを人生の修行のひとつに加えていただくことを願って結びの言葉といたします。

平成27年度 優良店舗の選定基準について

信用保証のご利用をいただいております金融機関の「優良店舗」の選定基準が、下記のとおり決まりましたのでお知らせいたします。

昨年度は、おかげ様で55店舗が選定されました。

道内の景気は緩やかながらも持ち直しの動きが出てきておりますが、中小企業を取り巻く経営環境は依然厳しい状況が続いております。保証付融資の推進にご尽力を頂き、基準日の平成27年12月末日に向けて、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

平成27年度 優良店舗選定基準

1. 基準日

平成27年12月末日

2. 選定基準および選定店舗数（金融機関グループ別）

下表に掲げる①保証債務平均残高②代弁率の両方を満たしている店舗（本・支店）を対象とします。

選定基準をクリアした店舗が選定店舗数に満たない場合はそこで打ち切りとします。

<table>
<tr><th>金融機関区分</th><th>①保証債務平均残高（※1）</th><th>②代弁率（※2）</th><th>選定店舗数</th></tr>
<tr><td>都市銀行</td><td rowspan="5">8億円以上
かつ対前年増加額上位</td><td rowspan="4">1.0%以内</td><td rowspan="5">（ア）※保証債務平均残高が15億円以上
25店舗
（イ）※保証債務平均残高が15億円未満
10店舗
計35店舗</td></tr>
<tr><td>政府系</td></tr>
<tr><td>地方銀行</td></tr>
<tr><td>第二地方銀行</td></tr>
<tr><td>上記以外の銀行</td></tr>
<tr><td>信用金庫</td><td>6億円以上
かつ前年増加額上位</td><td>25店舗</td></tr>
<tr><td>信用組合</td><td rowspan="2">4億円以上
かつ前年増加額上位</td><td rowspan="2">10店舗</td></tr>
<tr><td>上記以外の金融機関</td></tr>
</table>

3. 感謝状・記念品の贈呈

選定された優良店舗には、感謝状と記念品を贈呈いたします。

＜各指標の説明＞

（※1）保証債務平均残高

平成27年1月から平成27年12月までの各月末保証債務残高の平均額

（※2）代弁率

$$\frac{\text{平成27年1月から基準日までの代位弁済合計額}}{\text{保証債務平均残高}}$$

平成27年度 新規保証キャンペーンのご案内

信用保証をご利用されていない道内中小企業の方に、金融の円滑化を図っていただくための「新規保証キャンペーン」を5月1日（金）から実施しますので、積極的なご利用をお願いします。

平成27年
5月1日（金）から9月30日（水）まで

目　的

道内中小企業にあって、信用保証協会を利用していない中小企業の金融の円滑化に資するため信用保証の利用の促進を図ることを目的に実施します。

対象企業

①信用保証協会を初めて利用する方
②保証申込時点において他行含め保証債務残高が無く、信用保証協会を再度利用する方

対象融資

すべての保証付融資とします。

パンフレットをご活用ください

信用保証のご案内

「信用保証のご案内」の平成27年度版を作成いたしました。

信用保証の仕組みや主な保証制度などを掲載しておりますので、是非ご活用願います。

経営安定関連（セーフティネット）保証5号の指定業種について

平成27年度第一四半期における経営安定関連（セーフティネット）保証5号（中小企業信用保険法第2条第5項第5号に基づく認定）は、細分類254業種が指定されておりますのでお知らせします。

指定期間
平成27年4月1日～平成27年6月30日

※指定業種の詳細につきましては、中小企業庁のホームページをご参照ください。
URL：http://www.chusho.meti.go.jp

本店保証部および滝川支店の担当区域変更について

平成27年4月からお客様へのサービス向上と事務体制の効率化を目的に本店保証部担当地区の一部（南空知地区3市5町）を、滝川支店管轄に変更することといたしましたので、お知らせします。

これに伴い、本店保証部および滝川支店の保証窓口が下記のとおりとなります。

すでに保証付融資をご利用されているお客様につきましても、今後は下記の保証申込窓口となりますので、よろしくお願いいたします。

記

1. 本店保証部担当区域一覧（平成27年4月～）

担当課	担当区域
保証一課	札幌市（中央区、南区）
保証二課	札幌市（豊平区、清田区、白石区、厚別区）、千歳市、恵庭市、江別市、北広島市
保証三課	札幌市（北区、西区、東区、手稲区）、石狩市、当別町、新篠津村
調整課	保証部担当区域の事故報告 保証部担当区域の延滞調整 保証部担当区域の返済緩和を伴う条件変更申込（※）

※調整課担当窓口以外の条件変更申込については、担当区域により保証各課が担当窓口となります。

2. 滝川支店担当区域一覧（平成27年4月～）

担当支店	担当区域
滝川支店	滝川市、深川市、美唄市、砂川市、芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、新十津川町、浦臼町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、沼田町、北竜町 **岩見沢市、三笠市、夕張市、栗山町、由仁町、長沼町、南幌町、月形町**

※朱書きの3市5町が滝川支店管轄に変更となります。

お知らせ 軽装を実施します

当協会は、地球温暖化防止対策として環境省が奨励する「クールビズ」を実施し、冷房の使用を抑え、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

これに伴い、事務環境を整えるために、職員に対し軽装の励行を実施いたしますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

実施期間／平成27年5月25日（月）～10月2日（金）

定例相談をご利用ください

当協会では中小企業経営者の皆様の経営・金融相談をお受けするため、関係機関のご協力を得て、中小企業相談窓口を下記のとおり設置しております。

協会職員を相談員として派遣しておりますので、お気軽にご相談ください。

［相談時間　10:00～16:00］

派　遣　先	定例相談日	相　談　日
北海道中小企業総合支援センター 札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル 9階 ビジネスサポートプラザ	原則・毎月第1木曜日	6月 4日(木)　8月 6日(木) 7月 2日(木)
札幌商工会議所 札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル 1階 中小企業相談所	原則・毎月第1金曜日	6月 5日(金)　8月 7日(金) 7月 3日(金)
	原則・毎月第3金曜日	6月19日(金)　8月21日(金) 7月17日(金)
札　幌　市 札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル 2階 札幌中小企業支援センター	原則・毎月第2木曜日	6月11日(木)　7月 9日(木)
さっぽろ産業振興財団 札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル 2階 札幌中小企業支援センター	原則・毎月第3火曜日	6月16日(火)　8月18日(火) 7月21日(火)

※派遣職員：業務部企業支援課の中小企業診断士を中心に、交代で相談をお受けします。

『夜間経営相談窓口』のご案内

当協会では、中小企業の皆さまの経営をサポートするため、特に昼間お忙しい方に向けた「夜間経営相談窓口」を開設しております。

事業を継続するうえでお悩みになっている経営、財務、創業、再生などに関するアドバイスとして、当協会の中小企業診断士が無料でご相談をお受けしますので、ぜひお気軽にご利用ください。

なお、中小企業者の方だけではなく、これから事業を開始したいと考えている方の創業に関するご相談にもお応えします。

■開 設 日 時　原則として毎月 第1・第3火曜日　17:10から19:40まで
■開 設 場 所　北海道信用保証協会 本店1階（札幌市中央区大通西14丁目1番地）
■相 談 担 当　当協会職員で、中小企業診断士等の資格を有する者
■主な相談内容　・創業に関するサポート　・財務分析を主体とする経営アドバイス
・経営戦略や事業計画策定のサポート　・事業再生に関するサポート
※内容によりお受けできないご相談もありますのでご了承ください。
〈お受けできない相談事例〉
・中小企業の経営に関係のないこと
・債務整理に関する相談
・信用保証に関する具体的な金融相談（こちらは当協会の相談窓口でお受けしております）
■相 談 料　無 料
■ご利用方法　当協会本店1階の受付窓口に直接お越しください。
ご予約は不要ですが、受付順にご相談を承りますので、ご予約をいただいた方がスムーズな対応となります。
ご予約は 011-241-5605（企業支援課）もしくは 0120-279-540（フリーダイヤル）まで
※夜間経営相談窓口にご来店される方は、駐車場のご利用ができませんので、公共交通機関をご利用ください。

平成27年度　年度経営計画
中期事業計画（平成27～29年度）

平成27年3月25日に開催されました第200回理事会において、平成27年度の事業計画と収支予算、平成27～29年度の中期事業計画が決定されました。
事業計画および中期事業計画の概要は次のとおりです。

日本経済は基調的に緩やかな回復を続けており、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響も全体として和らいでおります。

北海道地域の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復しており、企業倒産は落ち着いた動きとなっています。

中小企業を取り巻く環境については、景気全体としては緩やかながらも改善傾向をたどる中、原油安がプラスに作用する期待感が高まる一方で、円安等によるコスト負担の増加、公共投資の減少や電力再値上げ、人口減少や少子高齢化に起因する中長期的な需要の減少、人手・人材不足、事業承継の困難化など先行きの需要増加を見込めない中での経営環境には、依然として不透明感が拭いきれません。

この様な状況を踏まえ、当協会は、平成27年度の事業計画および平成27～29年度の中期事業計画を次のとおり策定しました。

❖平成27年度　経営方針

業務運営方針

① 公的な保証機関として国および地方公共団体の施策に呼応し、経営力強化保証、借換保証等の各種政策保証の推進を図ることにより中小企業者の多様なニーズに的確に応え、金融円滑化を図る。

② 「北海道中小企業支援ネットワーク」の事務局として、定期的な会議の開催等により参加機関の連携促進に努め、地域全体の経営改善・再生スキルの向上を図る。

③ 関係機関との連携によるモニタリングや「経営サポート会議」および専門家を活用した中小企業者への改善計画策定支援等を積極的に推進することにより経営支援・再生支援を中心とした期中支援の充実・強化に努める。

④ 信用補完制度の持続可能な運営を図るうえで求償権の管理・回収の重要性は増しており、早期の適切かつ効果的な回収方針策定と着手およびサービサーの活用と連携により効率的な管理・回収に努める。

⑤ 信用補完制度が持続可能なものとなるよう、保険収支の改善に向けた取り組みを行う。

⑥ コンプライアンス、個人情報の保護および反社会的勢力等への対応について、管理態勢の更なる徹底・強化を図る。

⑦ 経営の合理化、効率化を推し進め、経営基盤の強化を図る。

❖中期事業計画（平成27～29年度）

業務運営方針

公共的使命が大きく社会的責任の重い保証機関として中小企業者の資金調達の円滑化を図り、中小企業者の健全な育成と地域経済の発展に貢献するため、平成27年度から平成29年度の3ヵ年間における業務上の基本方針について、以下に掲げる事項を主要項目として取り組む。

① 政策保証の推進

中小企業者の資金調達の円滑化・多様化を図るため、各種政策保証の推進はもとより、地方公共団体の制度保証等の推進に努める。

② 利便性の向上

中小企業者のニーズを的確にとらえ、きめ細かい総合的なサービスの向上に努める。

③ 保証業務の充実

金融機関との連携を図り、保証業務の推進に努める。

④ 経営支援・再生支援体制の充実、強化

本店の専門部署に中小企業診断士を配置するとともに、関係機関に派遣し、相談者の利便性の向上と相談内容の充実を図る。

「北海道中小企業支援ネットワーク」にて参加機関との連携に努め、「経営サポート会議」によって関係者と中小企業者の経営改善・事業再生の促進を図る。

⑤ 大口保証先の管理、延滞・事故先企業の早期実態把握

延滞・事故先企業の早期実態把握に努め、借換保証や返済緩和の条件変更により代位弁済の抑制および保険収支の改善を図る。

⑥ 回収の合理化・効率化

早期に債務者等の現況を把握し回収方針や行動計画を策定のうえ回収の促進を図るとともに、期中支援部署・サービサー等との連携を図り、求償権の適正かつ効率的な管理に努める。

⑦ 運営規律の強化等

公的な保証機関としてガバナンスの強化を図るため、個人情報保護を含めたコンプライアンス態勢、業務運営態勢の強化に向けて継続的に取り組む。

[事業計画]

項　目	27年度	28年度	29年度
保　証　承　諾	4,000億円	3,950億円	3,900億円
保証債務残高	8,180億円	8,040億円	7,930億円
代　位　弁　済	154億円	151億円	149億円
求 償 権 回 収	34億円	32億円	30億円

平成27年度の業務運営方針、平成27～29年度の中期事業計画は、当協会のホームページにも掲載しております。

平成26年度 事業概況

❖一般概況

平成26年度の北海道経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、観光の堅調な推移や民間設備投資の持ち直しなどにより、緩やかに持ち直してきております。

一方、道内中小企業を取り巻く環境は、緩やかな回復基調にあるものの、原材料・資材価格の高騰、エネルギー価格の上昇といったリスク要因が顕在化するなど、不透明な状況にあり依然として不安定要素も多く、楽観視できない状況にあります。

1. 保証承諾

平成26年度の保証承諾は32,203件（前年比96.3%）、3,984億円（同99.9%）となり、件数で1,248件、金額で4億円それぞれ減少しました。

要因としては、景気が緩やかな持ち直しが続いたものの、道内の隅々まで景気回復を実感できるまでの環境下にないこと、金融円滑化法が終了した平成25年度4月以降も貸付条件が緩和されているなどから、保証承諾は前年度並みの推移となりました。

保証承諾

年度	件数	金額（億円）	前年比（%）
22年度	42,666	4,998	80.1
23年度	33,814	3,867	77.4
24年度	34,987	4,013	103.8
25年度	33,451	3,988	99.4
26年度	32,203	3,984	99.9

2. 保証債務残高

平成27年3月末の保証債務残高は96,669件（前年比97.6%）、8,322億円（同97.0%）となり、件数で2,327件、金額では254億円それぞれ減少しました。

保証債務残高

年度	件数	金額（億円）	前年比（%）
22年度	112,914	10,349	94.7
23年度	107,385	9,587	98.2
24年度	102,379	8,989	93.8
25年度	98,996	8,576	95.4
26年度	96,669	8,322	97.0

3. 代位弁済

平成26年度の代位弁済は1,745件（前年比76.4%）138億円（同75.8%）となり、件数で538件、金額で44億円それぞれ減少しました。

道内の景気の緩やかな回復や、中小企業金融円滑化法の終了後も弾力的に貸付条件の緩和や延滞調整の強化、経営支援等から代位弁済は件数、金額とも減少しました。

代位弁済

年度	件数	金額（億円）	前年比（%）
22年度	3,427	286	80.8
23年度	3,421	281	98.2
24年度	2,865	229	81.5
25年度	2,283	182	79.7
26年度	1,745	138	75.8

4. 収支の状況

平成26年度の収支差額は29億02百万円となり、そのうち20億円を基金準備金に繰入し、期末の基本財産は515億円となりました。

また、収支差額のうち9億02百万円を収支差額変動準備金に繰入れた結果、期末の収支差額変動準備金は154億28百万円となりました。

		26年度(百万円)	前年比(%)
経常収支	経常収入	11,037	97.3
	経常支出	7,760	99.8
	経常収支差額	3,277	91.9
経常外収支	経常外収入	22,691	68.5
	経常外支出	23,152	69.0
	経常外収支差額	△460	—
制度改革促進基金取崩額		85	49.6
当期収支差額		2,902	88.5
基本財産(年度末)		51,500	104.0
収支差額変動準備金		15,428	106.2

〈当協会〉

	件数	金額(百万円)	前年比(%)	
			件数	金額
保証承諾	32,203	398,384	96.3	99.9
保証債務残高	96,669	832,210	97.6	97.0
所定期限経過債務残高	77	662	70.0	66.8
代位弁済	1,745	13,827	76.4	75.8
求償権回収	—	3,654	—	93.4

〈全国〉

	件数	金額(百万円)	前年比(%)	
			件数	金額
保証承諾	714,340	8,939,404	97.6	96.1
保証債務残高	2,949,589	27,701,740	96.1	93.0
代位弁済	49,771	526,570	82.2	80.9
求償権回収	—	150,390	—	89.5

役員人事

専務理事に北條富雄、常務理事に髙橋義典、三浦修市、常勤監事に菊地国行が就任

専務理事加藤光浩、常務理事宮越一寿、常勤監事金野豊が退任し、平成27年4月1日付をもって常務理事の北條富雄が専務理事に昇任し、常務理事に髙橋義典、三浦修市が、常勤監事に菊地国行が新たに就任しましたので、お知らせします。

会　　長	高原　陽二	
専務理事	北條　富雄	
常務理事	髙橋　義典	(業務部担当)
常務理事	三浦　修市	(総務部・管理部担当)
常勤監事	菊地　国行	

常務理事
髙橋（たかはし） 義典（よしのり）の紹介

昭和58年4月　北海道信用保証協会 入協
平成20年4月　業務部副部長
平成21年4月　釧路支店長
平成24年4月　総務部副部長
平成25年4月　総務部長
平成26年4月　業務部長

常務理事
三浦（みうら） 修市（しゅういち）の紹介

昭和58年4月　北海道信用保証協会 入協
平成18年4月　小樽支所長
平成20年4月　保証部副部長
平成21年4月　業務部副部長
平成25年4月　旭川支店長

常勤監事
菊地（きくち） 国行（くにゆき）の紹介

昭和52年4月　北海道信用保証協会 入協
平成19年4月　釧路支店長
平成21年4月　管理部副部長
平成22年4月　管理部長
平成25年4月　業務部長
平成26年4月　業務部参事

人事異動

平成27年4月1日付
（職制・事務組織順）

新　任	氏　名	旧　任
業務部長	栗山　敬康	管理部長
管理部長	古川　茂樹	保証部長
保証部長	中村　晃裕	釧路支店長（副部長待遇）
旭川支店長（部長待遇）	松浦　孝利	業務部副部長（業務課担当）
総務部副部長兼電算課長	佐藤　政一	保証部副部長
業務部副部長（業務課担当）	斉藤　寿雄	帯広支店長（副部長待遇）
業務部副部長（審査課・企業支援課担当）	小林　信治	苫小牧支店長
管理部副部長兼管理課長	山口　史展	管理部管理課長
管理部副部長兼代位弁済課長 （管理事務課・整理課担当）	佐々木　広幸	管理部副部長 （管理事務課・整理課・代位弁済課担当）
監査室長（副部長待遇）	山本　敏雄	総務部副部長兼電算課長
保証部副部長	神谷　英孝	管理部副部長（管理課担当）
釧路支店長（副部長待遇）	廣田　隆則	業務部副部長（審査課・企業支援課担当）
管理部上席推進役（代位弁済課担当）	大石　正	監査室長（副部長待遇）
総務部人事課長	金子　明憲	保証部保証三課長
業務部審査課付課長	綿谷　順次	旭川支店課長
業務部企業支援課長	平川　浩樹	業務部審査課付課長
管理部整理課長	千葉　淳一	旭川支店課長
保証部保証三課長	佐藤　剛雄	管理部整理課長
函館支店次長（課長待遇）	宮田　直貴	業務部業務課課長補佐
帯広支店長	長谷川　和威	業務部企業支援課長
旭川支店課長	田中　知喜	管理部代位弁済課長
旭川支店課長	増子　直人	北見支店次長
苫小牧支店長	今富　謙治	総務部人事課長
管理部管理事務課推進役	中出　恵二	総務部電算課推進役
管理部整理課推進役	野家　敏照	管理部管理課付課長（保証協会債権回収㈱出向）
管理部代位弁済課推進役	山本　晃義	函館支店次長（課長待遇）
総務部総務課課長補佐	高島　彰宏	保証部保証三課係長
業務部業務課課長補佐	谷口　善範	保証部保証二課課長補佐

新　任	氏　名	旧　任
業務部企業支援課課長補佐	中野　悠貴	業務部企業支援課係長
管理部管理課付課長補佐 （保証協会債権回収㈱出向）	中井　孝	保証部保証二課課長補佐
管理部管理課付課長補佐 （保証協会債権回収㈱出向）	讃岐　純	函館支店係長
保証部保証二課課長補佐	武藤　知子	函館支店支店長補佐
保証部保証二課課長補佐	北川　勝也	室蘭支店次長
函館支店支店長補佐	須貝　智	管理部管理課付課長補佐 （保証協会債権回収㈱出向）
北見支店次長	松山　哲也	北見支店係長
旭川支店課長補佐	安部　陽介	旭川支店係長
釧路支店支店長補佐	道願　卯女	総務部総務課課長補佐
室蘭支店次長	森岡　誠	総務部総務課課長補佐
業務部企業支援課係長	長嶋　隆徳	業務部企業支援課
管理部整理課係長	岡田　賢二	管理部整理課
保証部保証一課係長	渋谷　亮	保証部保証二課係長
保証部保証一課係長	佐藤　絵里	保証部調整課
保証部保証二課係長	金子　隆宏	管理部代位弁済課
保証部保証三課係長	岩井　和志	帯広支店係長
保証部保証三課係長	本田　和也	保証部保証三課
保証部調整課係長	蔵川　由紀子	釧路支店係長
函館支店係長	金子　努	保証部保証三課係長
帯広支店係長	黒澤　哲	保証部保証一課係長
北見支店係長	澤田　悠太	保証部保証一課係長
旭川支店係長	金児　祐吾	保証部調整課係長
苫小牧支店係長	伊藤　徹信	業務部企業支援課係長

（係長以上を掲載しました）

北海道内

信用保証利用企業動向調査 （平成27年 1月～3月期調査）

この調査は、信用保証をご利用いただいている中小企業の皆様の景況・金融動向等を把握するために、日本政策金融公庫保険企画部が全国9都道府県（北海道、宮城県、東京都、愛知県、石川県、大阪府、広島県、香川県、福岡県）の信用保証協会と共同して、四半期毎に信用保証利用企業についてアンケート調査を行っているもので、昭和44年以来実施している調査です。

この度、平成27年1月～3月期の道内の調査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

【調査時点】 平成27年3月中旬
【調査対象】 1,252企業
【有効回答数】 361企業（回答率28.8%）
【調査方法】 封書によるアンケート調査

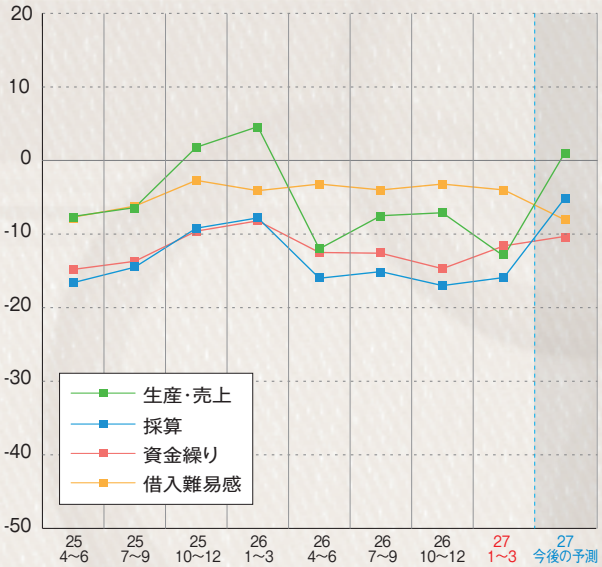
道内の信用保証利用企業の景況感は、悪化の動きが強まるものの、一部に改善の兆し。

〈全国の判断〉信用保証利用企業の景況は、やや悪化しているが、先行きについては持ち直しの見込み。

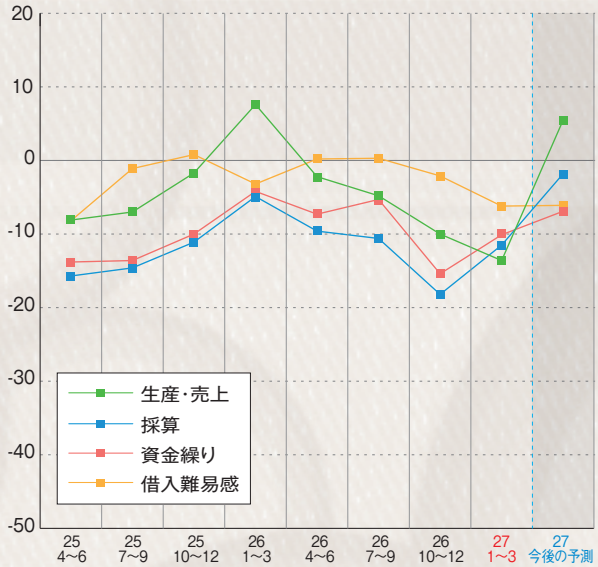
概況

総合DIの推移

全国



北海道



コメント　～北海道では一部に改善の兆しがあり、全国的にも持ち直しの見込み

今期調査（平成27年1～3月期）による景況動向指数は、全国値では採算DIが1.1ポイント、資金繰りDIが3.1ポイント改善したのに対し、生産・売上DIが5.9ポイント、借入難易感DIが0.8ポイント悪化した。
北海道では、採算DIで6.7ポイント、資金繰りDIで5.3ポイント改善したのに対し、生産・売上DIで3.6ポイント、借入難易感DIで4.1ポイント悪化した。
今後の予測については、生産・売上DI、採算DI、資金繰りDIでは改善し、借入難易感DIでは横ばいの見通しにある。

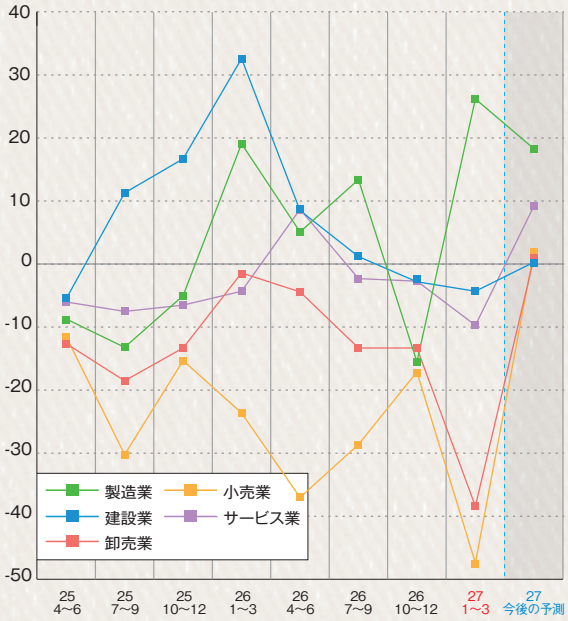
※景気動向指数DI（Diffusion Index）とは…

景気動向指数DIとは、景気の現状と先行きを予測する動向指数で、アンケート調査において、前期に比べ、「増加（または、好転、容易）」と回答した企業割合から、「減少（または、悪化、困難）」と回答した企業割合を差し引いた数値から、季節的な変動要因（季節調整値）を控除した数値です。

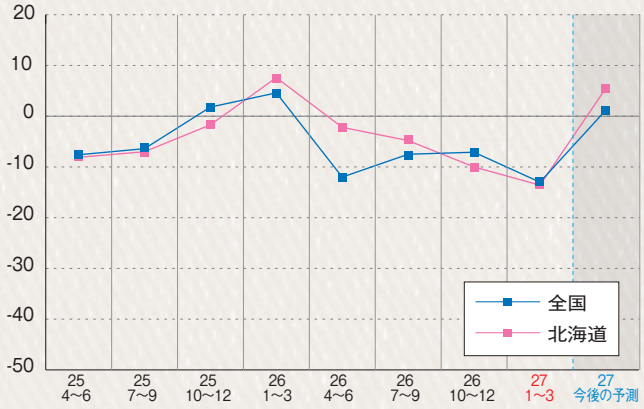
〈北海道分〉

生産・売上DI

生産・売上DI推移（業種別）



全国と北海道の生産・売上DIの総合



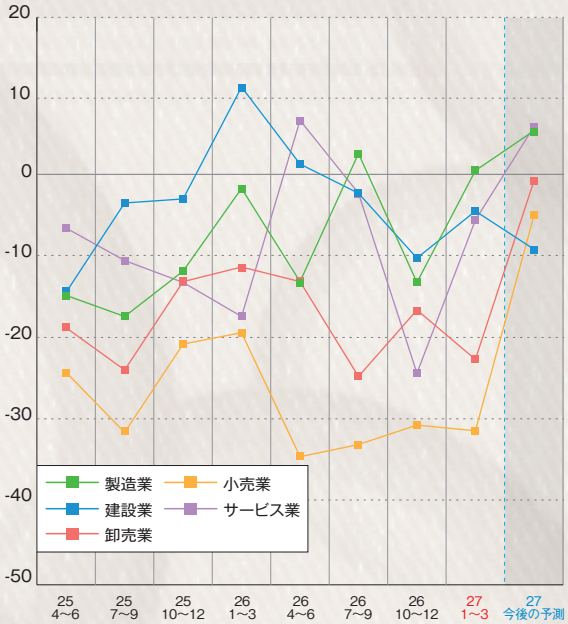
	前期末予測	今期実績	来期予測
総合	3.4	- 13.6	5.5
製造業	17.1	26.2	18.3
建設業	19.1	- 4.3	0.3
卸売業	- 10.7	- 38.4	0.9
小売業	- 19.7	- 47.4	1.9
サービス業	2.0	- 9.7	9.2

コメント　～製造業で大幅に改善、ほか全業種で厳しい結果

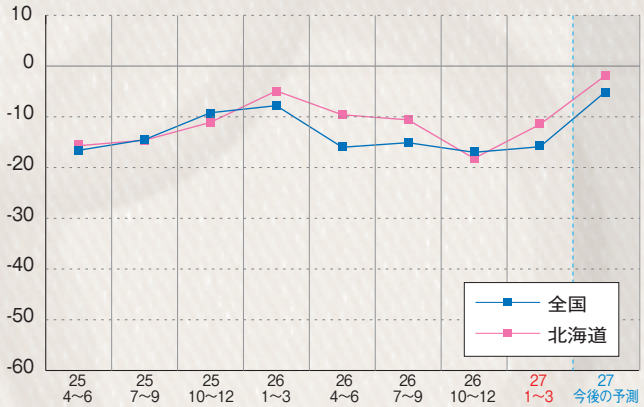
生産・売上DIは総合で前期比3.6ポイント悪化し-13.6となった。
業種別では、製造業で大幅に改善したが、建設業、卸売業、小売業、サービス業で悪化し、特に卸売業、小売業で大幅に悪化した。
今後の予測では、卸売業、小売業、サービス業で大幅に改善の見通しである一方、製造業で悪化の見通しにある。

採算DI

採算DI推移（業種別）



全国と北海道の採算DIの総合



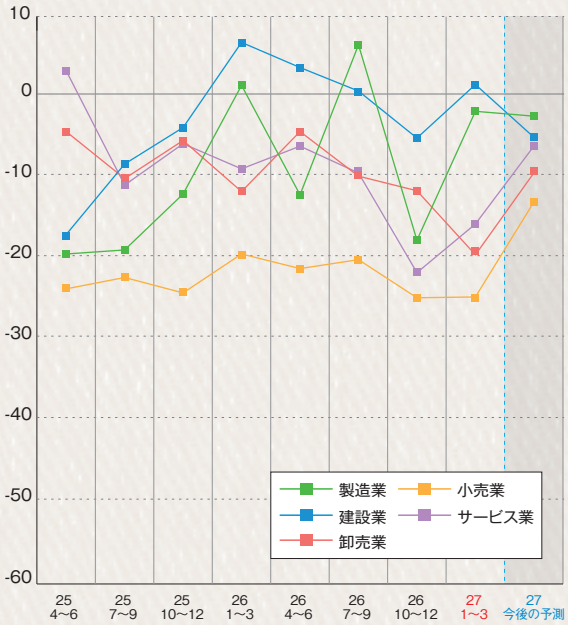
	前期末予測	今期実績	来期予測
総合	- 4.6	- 11.5	- 1.8
製造業	6.4	0.5	5.4
建設業	6.4	- 4.5	- 9.2
卸売業	- 24.8	- 22.8	- 0.8
小売業	- 23.2	- 31.6	- 5.1
サービス業	4.9	- 5.6	5.9

コメント　～製造業、建設業、サービス業で改善が見られるも、総合ではマイナス推移が続いている

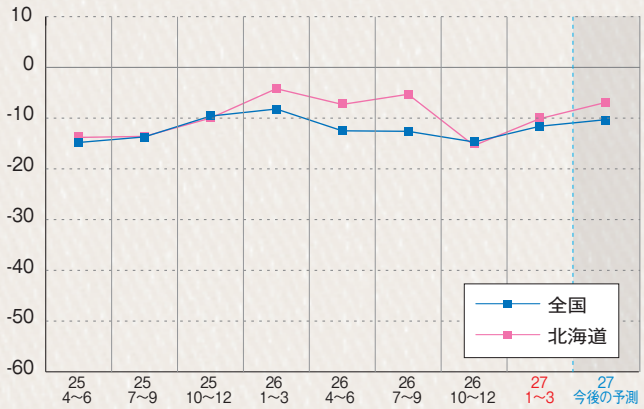
採算DIは、総合で前期比6.7ポイント改善し-11.5となった。
業種別では、製造業、建設業、サービス業は改善し、卸売業、小売業で悪化した。特に製造業、サービス業は大幅に改善した。
また、建設業、サービス業は改善が見られたが依然マイナス圏内となっている。
今後の予測では、卸売業、小売業、サービス業で大幅な改善の見通しである一方、建設業で悪化の見通しにある。

資金繰りDI

資金繰りDI推移（業種別）



全国と北海道の資金繰りDIの総合



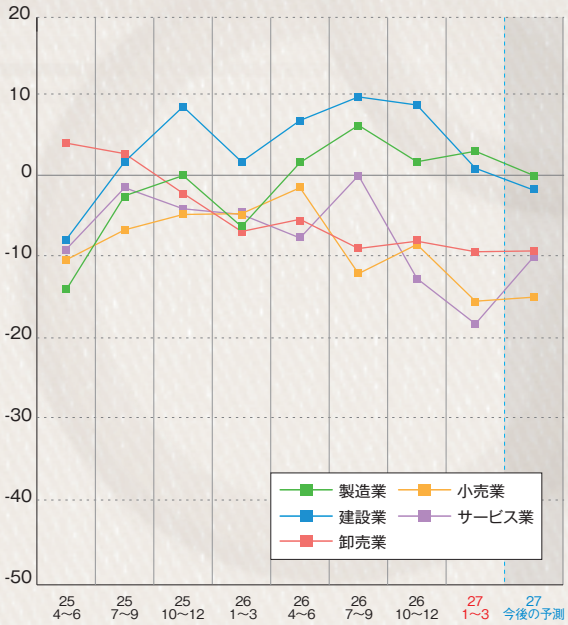
	前期末予測	今期実績	来期予測
総合	- 13.2	- 10.1	- 6.9
製造業	- 16.8	- 2.1	- 2.7
建設業	0.9	1.2	- 5.3
卸売業	- 20.6	- 19.8	- 9.7
小売業	- 28.2	- 25.0	- 13.3
サービス業	- 8.3	- 16.0	- 6.4

コメント　～製造業、建設業、サービス業で改善するも、総合ではマイナス推移が続く

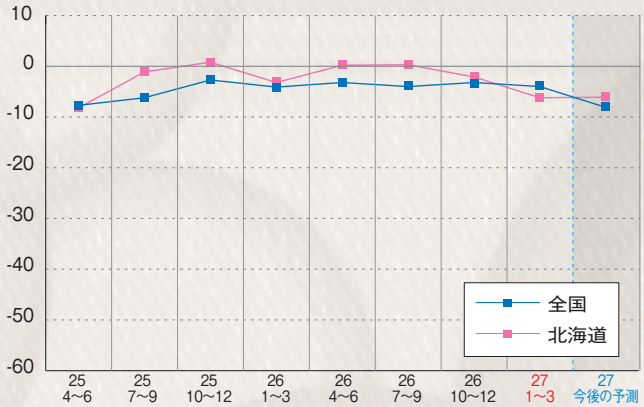
資金繰りDIでは、総合で前期比5.3ポイント改善し-10.1となった。
業種別では、製造業、建設業、サービス業で改善しており、特に製造業で大幅に改善しているものの、製造業、サービス業は依然マイナス圏内となっている。卸売業で悪化し、小売業では横ばいとなった。
今後の予測では、卸売業、小売業、サービス業は改善の見通しであるが、全業種でマイナス圏内の見通しにある。

借入難易感DI

借入難易感DI推移（業種別）



全国と北海道の借入難易感DIの総合



	前期末予測	今期実績	来期予測
総合	- 16.1	- 6.2	- 6.1
製造業	- 15.0	3.0	0.0
建設業	- 10.8	0.9	- 1.8
卸売業	- 25.0	- 9.4	- 9.3
小売業	- 15.5	- 15.5	- 15.0
サービス業	- 19.6	- 18.3	- 10.0

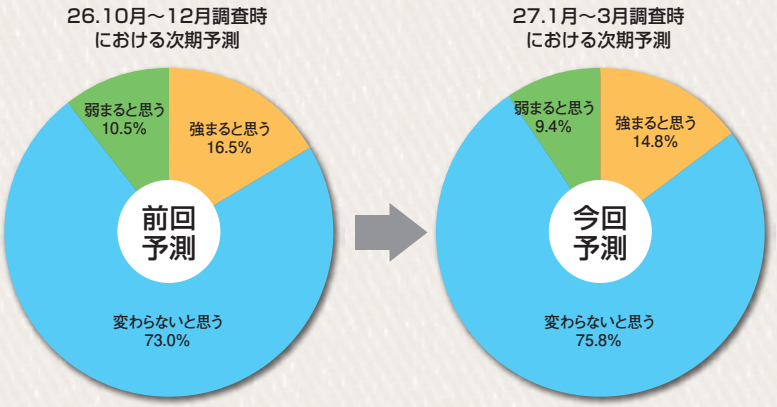
コメント　～製造業で改善するも、ほか全業種で厳しい結果

借入難易感DIでは、総合で前期比4.1ポイント悪化し-6.2となった。
業種別では製造業は改善したほかは全業種で悪化した。卸売業、小売業、サービス業でマイナス圏内での推移が続いている。
今後の予測では、製造業、建設業で悪化するが、サービス業で改善の見通しにある。

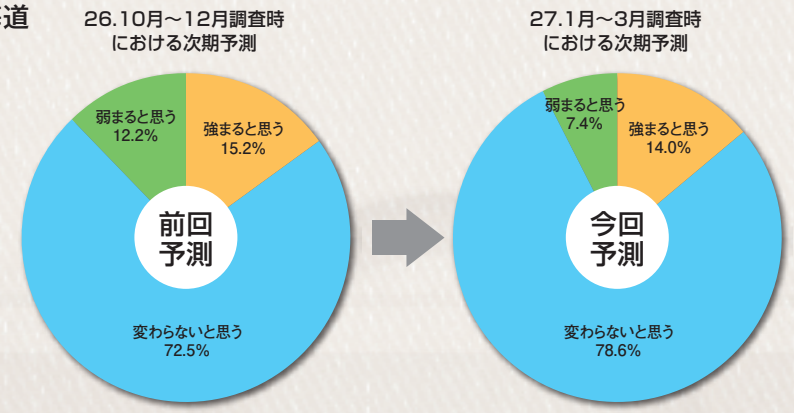
信用保証利用に対する金融機関の要請DI（次期予測）

※取引金融機関からの借入にかかる保証付融資利用要請の見通しに対する予測調査

全国

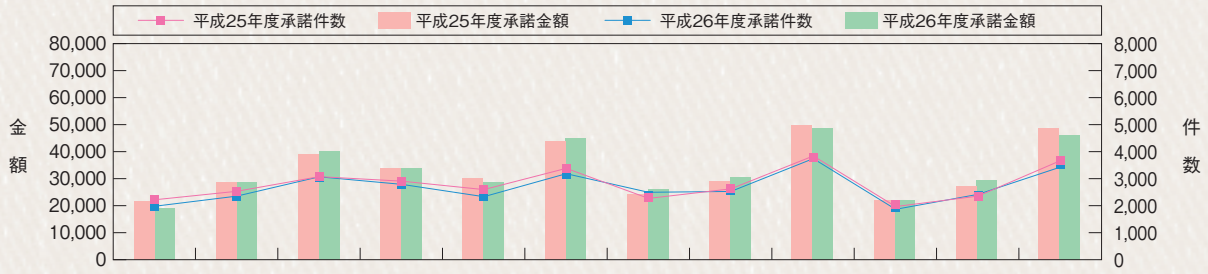


北海道



統計資料

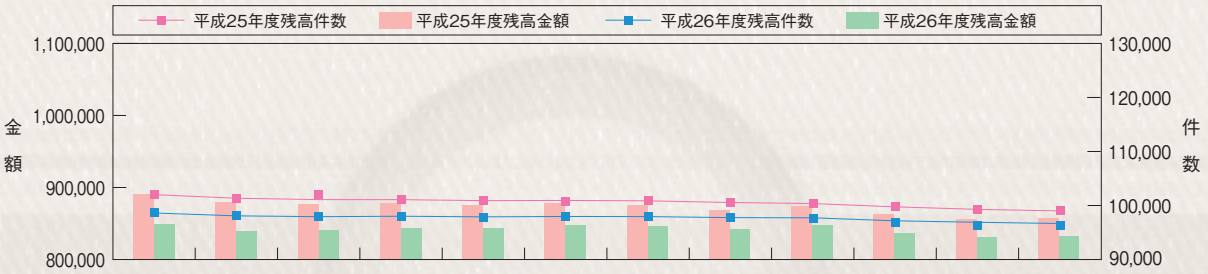
1 保証承諾実績



〈表中単位〉
件数：件
金額：百万円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25年度	件数	2,219	2,534	3,076	2,910	2,597	3,383	2,271	2,625	3,842	1,969	2,357	3,668
	金額	21,793	28,597	39,160	33,923	30,317	43,953	24,166	29,037	49,872	21,930	27,238	48,838
	前年比	118.1%	114.4%	119.0%	113.3%	95.2%	103.3%	91.5%	78.0%	101.2%	88.0%	85.1%	96.1%
26年度	件数	1,979	2,355	3,070	2,792	2,334	3,185	2,497	2,529	3,744	1,867	2,421	3,430
	金額	19,227	28,585	40,347	34,022	28,740	45,036	26,035	30,393	48,762	21,871	29,412	45,952
	前年比	88.2%	100.0%	103.0%	100.3%	94.8%	102.5%	107.7%	104.7%	97.8%	99.7%	108.0%	94.1%

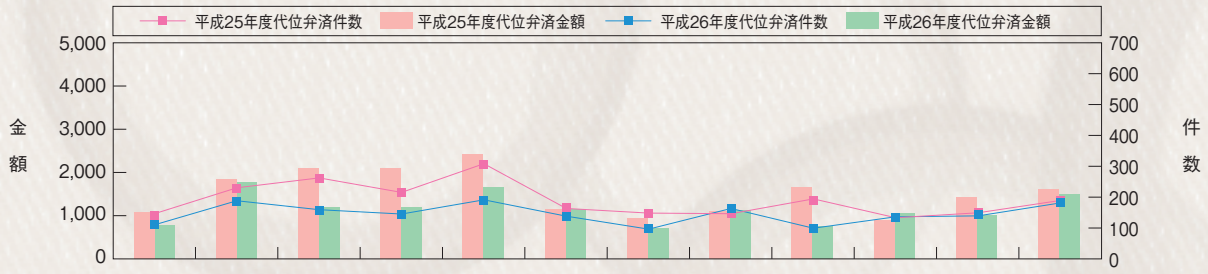
2 保証債務残高実績



〈表中単位〉
件数：件
金額：百万円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25年度	件数	102,007	101,346	101,091	101,081	100,900	100,938	100,861	100,555	100,360	99,746	99,286	98,996
	金額	891,037	879,602	877,424	878,743	875,327	878,991	875,226	869,153	874,571	863,409	856,303	857,576
	前年比	93.8%	93.8%	94.2%	94.7%	94.7%	95.3%	95.3%	95.3%	95.8%	95.6%	95.3%	95.4%
26年度	件数	98,613	98,086	97,930	98,014	97,900	97,971	97,945	97,758	97,720	97,165	96,891	96,669
	金額	849,620	839,236	840,492	843,970	844,393	848,383	846,995	842,210	847,371	836,300	830,609	832,210
	前年比	95.4%	95.4%	95.8%	96.0%	96.5%	96.5%	96.8%	96.9%	96.9%	96.9%	97.0%	97.0%

3 代位弁済実績



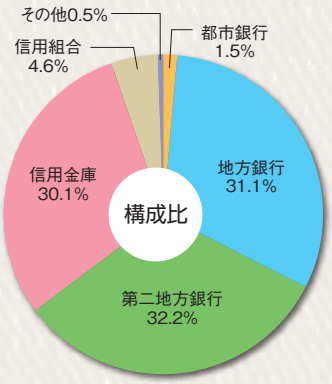
〈表中単位〉
件数：件
金額：百万円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25年度	件数	146	230	262	215	308	163	148	146	194	133	149	189
	金額	1,071	1,828	2,102	2,085	2,413	1,152	935	1,092	1,658	887	1,413	1,605
	前年比	112.5%	79.5%	108.8%	119.1%	67.8%	58.1%	66.4%	76.4%	84.6%	72.7%	87.8%	57.9%
26年度	件数	110	188	159	145	191	138	96	163	99	136	139	181
	金額	772	1,771	1,183	1,195	1,644	1,145	710	1,119	753	1,053	996	1,486
	前年比	72.1%	96.9%	56.3%	57.3%	68.1%	99.4%	75.9%	102.5%	45.4%	118.7%	70.5%	92.6%

保証承諾の構成

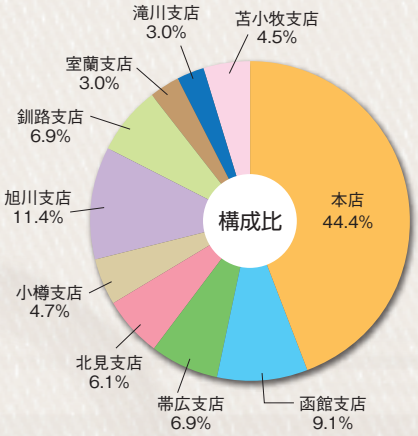
金融機関群別保証承諾（年度累計）

区分	平成26年度			
	件数	金額（百万円）	前年比	構成比
都市銀行	233	5,986	79.2%	1.5%
地方銀行	7,001	123,736	98.7%	31.1%
第二地方銀行	8,262	128,234	109.5%	32.2%
信用金庫	13,934	120,068	93.2%	30.1%
信用組合	2,642	18,489	99.9%	4.6%
その他	131	1,871	134.3%	0.5%
合計	32,203	398,384	99.9%	100.0%



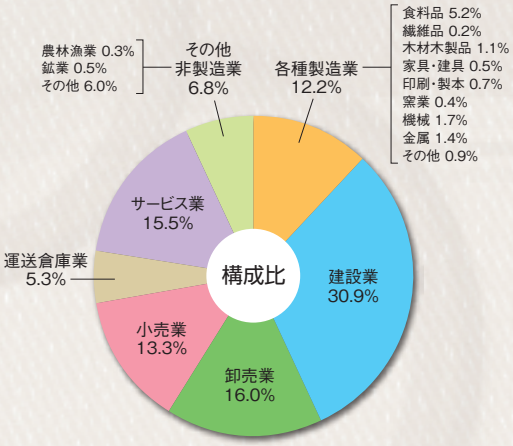
本支店別保証承諾（年度累計）

区分	平成26年度			
	件数	金額（百万円）	前年比	構成比
本店	13,302	176,998	100.9%	44.4%
函館支店	2,604	36,237	106.2%	9.1%
帯広支店	2,635	27,390	105.6%	6.9%
北見支店	1,958	24,117	109.6%	6.1%
小樽支店	1,516	18,815	102.0%	4.7%
旭川支店	4,115	45,269	94.3%	11.4%
釧路支店	2,493	27,502	88.5%	6.9%
室蘭支店	959	11,945	97.8%	3.0%
滝川支店	1,009	11,994	97.1%	3.0%
苫小牧支店	1,612	18,116	94.3%	4.5%
合計	32,203	398,384	99.9%	100.0%



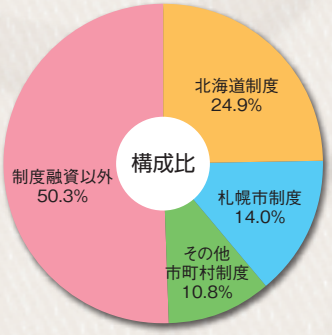
業種別保証承諾（年度累計）

区分	平成26年度			
	件数	金額（百万円）	前年比	構成比
食料品	1,246	20,769	97.5%	5.2%
繊維品	72	764	107.2%	0.2%
木材木製品	270	4,501	99.9%	1.1%
家具・建具	188	1,898	95.0%	0.5%
印刷・製本	211	2,696	98.0%	0.7%
窯業	101	1,703	104.0%	0.4%
機械	427	6,772	94.0%	1.7%
金属	386	5,664	106.8%	1.4%
その他製造業	311	3,782	93.7%	0.9%
小計（製造業）	3,212	48,549	98.2%	12.2%
農林漁業	127	1,207	91.4%	0.3%
鉱業	108	2,025	108.6%	0.5%
建設業	10,048	123,087	105.7%	30.9%
卸売業	4,342	63,716	92.2%	16.0%
小売業	5,667	53,107	99.7%	13.3%
運送倉庫業	1,428	21,132	93.1%	5.3%
サービス業	5,601	61,744	98.8%	15.5%
その他	1,670	23,817	107.2%	6.0%
小計（非製造業）	28,991	349,835	100.1%	87.8%
合計	32,203	398,384	99.9%	100.0%



地公体融資制度別保証承諾（年度累計）

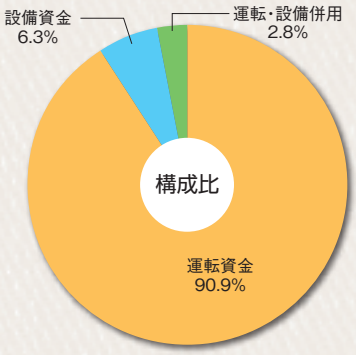
区分	平成26年度			
	件数	金額（百万円）	前年比	構成比
北海道制度	9,512	99,238	87.7%	24.9%
札幌市制度	5,133	55,796	90.6%	14.0%
その他市町村制度	5,622	42,920	99.8%	10.8%
制度融資以外	11,936	200,430	110.7%	50.3%
合計	32,203	398,384	99.9%	100.0%



保証承諾の構成

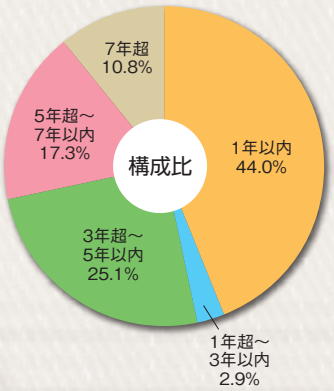
資金使途別保証承諾(年度累計)

区　分	平成26年度			
	件 数	金 額(百万円)	前年比	構成比
運転資金	28,002	361,933	100.4%	90.9%
設備資金	2,994	25,156	93.1%	6.3%
運転・設備併用	1,207	11,294	100.3%	2.8%
合計	32,203	398,384	99.9%	100.0%



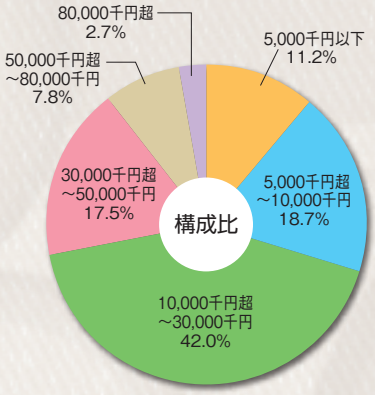
保証期間別保証承諾(年度累計)

区　分	平成26年度			
	件 数	金 額(百万円)	前年比	構成比
1年以内	12,709	175,155	105.4%	44.0%
1年超～3年以内	2,187	11,449	82.8%	2.9%
3年超～5年以内	10,043	100,015	100.6%	25.1%
5年超～7年以内	5,213	68,925	100.4%	17.3%
7年超	2,051	42,840	84.5%	10.8%
合計	32,203	398,384	99.9%	100.0%



保証金額帯別保証承諾(年度累計)

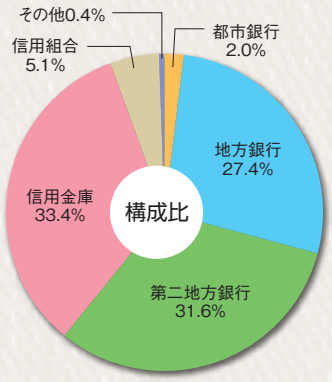
区　分	平成26年度			
	件 数	金 額(百万円)	前年比	構成比
5,000千円以下	13,394	44,687	93.4%	11.2%
5,000千円超~10,000千円	8,368	74,593	98.1%	18.7%
10,000千円超~30,000千円	8,288	167,483	100.2%	42.0%
30,000千円超~50,000千円	1,621	69,784	102.4%	17.5%
50,000千円超~80,000千円	445	31,061	100.0%	7.8%
80,000千円超	87	10,775	126.6%	2.7%
合計	32,203	398,384	99.9%	100.0%



保証債務残高の構成

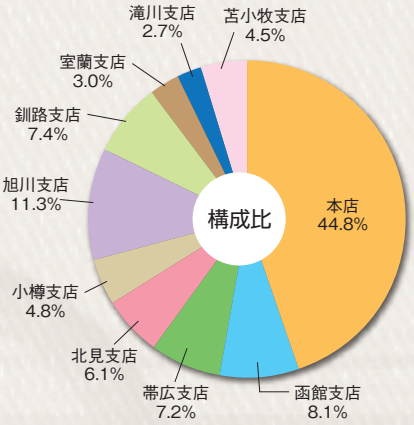
金融機関群別保証債務残高

区分	平成26年度末			
	件数	金額(百万円)	前年比	構成比
都市銀行	1,126	16,990	92.2%	2.0%
地方銀行	18,495	228,415	97.9%	27.4%
第二地方銀行	25,777	262,896	98.9%	31.6%
信用金庫	43,343	278,216	95.0%	33.4%
信用組合	7,542	42,131	95.4%	5.1%
その他	386	3,563	111.3%	0.4%
合計	96,669	832,210	97.0%	100.0%



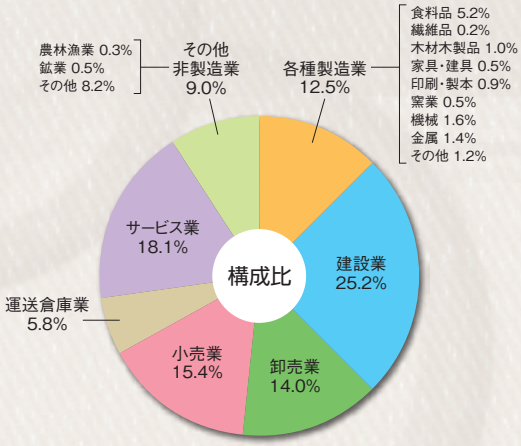
本支店別保証債務残高

区分	平成26年度末			
	件数	金額(百万円)	前年比	構成比
本店	41,275	372,870	96.2%	44.8%
函館支店	7,240	67,641	98.5%	8.1%
帯広支店	8,337	59,653	100.8%	7.2%
北見支店	5,751	50,908	96.8%	6.1%
小樽支店	4,331	39,808	96.4%	4.8%
旭川支店	12,051	94,398	95.8%	11.3%
釧路支店	7,212	61,767	97.3%	7.4%
室蘭支店	3,169	25,003	94.7%	3.0%
滝川支店	2,590	22,451	103.6%	2.7%
苫小牧支店	4,713	37,710	99.1%	4.5%
合計	96,669	832,210	97.0%	100.0%



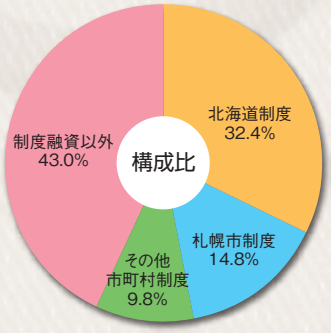
業種別保証債務残高

区分	平成26年度末			
	件数	金額(百万円)	前年比	構成比
食料品	3,261	43,345	94.2%	5.2%
繊維品	215	1,746	94.2%	0.2%
木材木製品	650	8,485	99.2%	1.0%
家具・建具	588	4,340	96.0%	0.5%
印刷・製本	829	7,676	96.0%	0.9%
窯業	321	4,143	96.9%	0.5%
機械	1,185	12,991	95.2%	1.6%
金属	1,156	11,378	98.0%	1.4%
その他製造業	1,197	9,893	92.6%	1.2%
小計(製造業)	9,402	103,998	95.3%	12.5%
農林漁業	386	2,694	99.9%	0.3%
鉱業	261	3,773	105.8%	0.5%
建設業	26,149	209,357	96.7%	25.2%
卸売業	10,895	116,330	95.6%	14.0%
小売業	19,648	128,372	96.1%	15.4%
運送倉庫業	4,746	48,578	95.1%	5.8%
サービス業	19,361	150,811	99.3%	18.1%
その他	5,821	68,297	101.3%	8.2%
小計(非製造業)	87,267	728,212	97.3%	87.5%
合計	96,669	832,210	97.0%	100.0%



地公体融資制度別保証債務残高

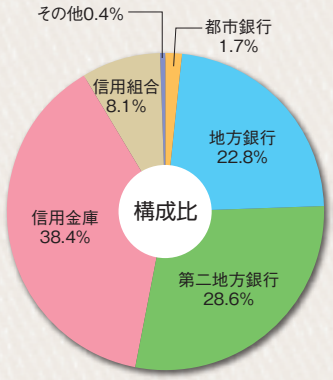
区分	平成26年度末			
	件数	金額(百万円)	前年比	構成比
北海道制度	35,168	269,366	86.2%	32.4%
札幌市制度	16,498	123,223	89.8%	14.8%
その他市町村制度	15,152	81,795	105.9%	9.8%
制度融資以外	29,851	357,826	108.2%	43.0%
合計	96,669	832,210	97.0%	100.0%



代位弁済の構成

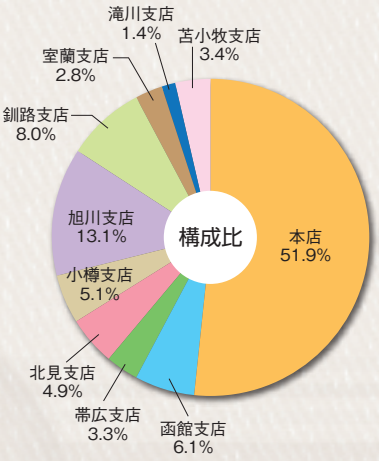
金融機関群別代位弁済（年度累計）

区分	平成26年度			
	件数	金額(百万円)	前年比	構成比
都市銀行	21	231	51.3%	1.7%
地方銀行	295	3,158	78.2%	22.8%
第二地方銀行	472	3,955	73.6%	28.6%
信用金庫	791	5,311	74.8%	38.4%
信用組合	160	1,121	89.8%	8.1%
その他	6	52	162.4%	0.4%
合計	1,745	13,827	75.8%	100.0%



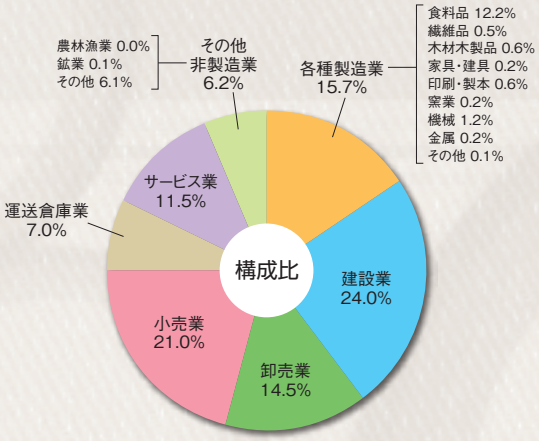
本支店別代位弁済（年度累計）

区分	平成26年度			
	件数	金額(百万円)	前年比	構成比
本店	906	7,170	80.0%	51.9%
函館支店	111	846	55.4%	6.1%
帯広支店	95	456	47.4%	3.3%
北見支店	70	680	84.3%	4.9%
小樽支店	78	710	56.1%	5.1%
旭川支店	221	1,807	82.2%	13.1%
釧路支店	132	1,101	106.0%	8.0%
室蘭支店	43	394	89.4%	2.8%
滝川支店	29	194	87.1%	1.4%
苫小牧支店	60	470	57.8%	3.4%
合計	1,745	13,827	75.8%	100.0%



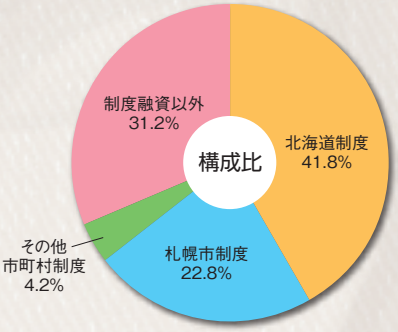
業種別代位弁済（年度累計）

区分	平成26年度			
	件数	金額(百万円)	前年比	構成比
食料品	120	1,690	114.4%	12.2%
繊維品	3	63	357.8%	0.5%
木材木製品	11	81	23.7%	0.6%
家具・建具	6	23	11.0%	0.2%
印刷・製本	11	85	26.5%	0.6%
窯業	3	27	4,262.8%	0.2%
機械	13	165	76.6%	1.2%
金属	6	26	8.7%	0.2%
その他製造業	7	18	13.2%	0.1%
小計（製造業）	180	2,177	72.2%	15.7%
農林漁業	0	0	0.0%	0.0%
鉱業	1	10	66.5%	0.1%
建設業	392	3,324	70.9%	24.0%
卸売業	230	2,007	67.4%	14.5%
小売業	518	2,904	79.9%	21.0%
運送倉庫業	92	968	101.2%	7.0%
サービス業	245	1,592	70.7%	11.5%
その他	87	847	132.7%	6.1%
小計（非製造業）	1,565	11,650	76.5%	84.3%
合計	1,745	13,827	75.8%	100.0%



地公体融資制度別代位弁済（年度累計）

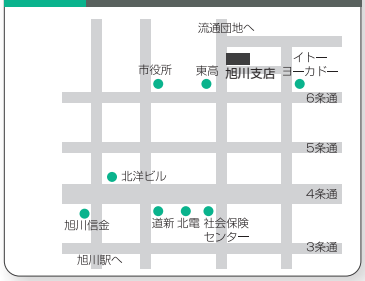
区分	平成26年度			
	件数	金額(百万円)	前年比	構成比
北海道制度	723	5,775	72.4%	41.8%
札幌市制度	365	3,158	92.8%	22.8%
その他市町村制度	109	574	60.7%	4.2%
制度融資以外	548	4,320	73.0%	31.2%
合計	1,745	13,827	75.8%	100.0%



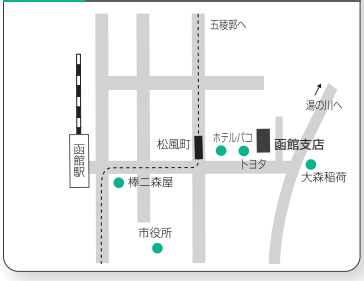
お問い合わせ先のご案内

本店
060-8670 札幌市中央区大通西14丁目1番地
TEL:011-241-2231
FAX:011-221-1085

旭川支店
070-8691 旭川市7条通13丁目59番地2
TEL：0166-24-1441
FAX：0166-25-5649

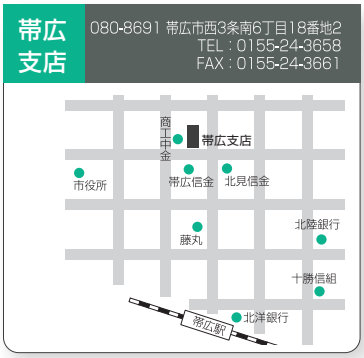


函館支店
040-8691 函館市大森町24番1号
TEL：0138-23-8425
FAX：0138-23-8471

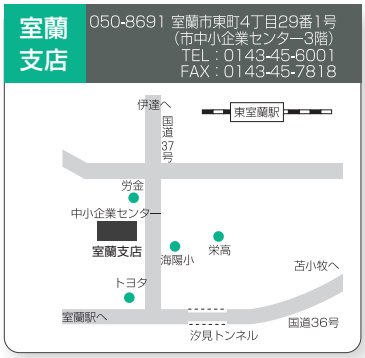


釧路支店
085-8691 釧路市黒金町6丁目1番地
TEL：0154-23-1361
FAX：0154-23-1364

帯広支店
080-8691 帯広市西3条南6丁目18番地2
TEL：0155-24-3658
FAX：0155-24-3661

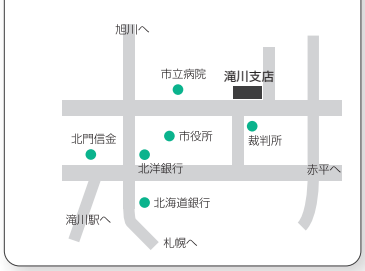


室蘭支店
050-8691 室蘭市東町4丁目29番1号
（市中小企業センター3階）
TEL：0143-45-6001
FAX：0143-45-7818



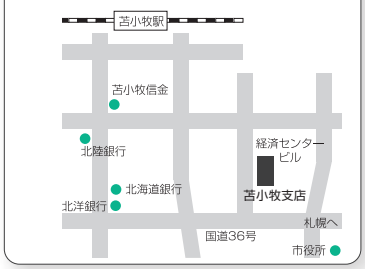
北見支店
090-8691 北見市北8条東1丁目3番地
TEL：0157-24-5196
FAX：0157-24-5191

滝川支店
073-8691 滝川市大町2丁目5番32号
TEL：0125-23-1201
FAX：0125-22-1360



小樽支店
047-8691 小樽市稲穂2丁目22番1号
（小樽経済センター2階）
TEL：0134-22-5188
FAX：0134-22-5918

苫小牧支店
053-8725 苫小牧市表町1丁目1番13号
（苫小牧経済センタービル2階）
TEL：0144-33-1751
FAX：0144-32-3915



お気軽にご相談ください。

経営金融相談専用ダイヤル

道内の中小企業経営者の皆様方の経営・金融相談をお受けしております。ご相談は無料ですのでお気軽にご利用ください。

FreeDial 0120-279-540（ツナグ ゴシエン）

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は、本店・業務部企業支援課011-241-5605をご利用ねがいます。

連絡所（次の市町村の商工会議所、商工会内にあります）

●本店	江別、恵庭
●函館	北斗、江差、森、八雲
●帯広	本別、清水、幕別
●北見	北見（留辺蘂）、網走、紋別、遠軽、斜里
●小樽	岩内、倶知安、余市
●旭川	留萌、稚内、名寄、富良野、士別、上川
●釧路	根室、白糠、厚岸
●室蘭	伊達
●滝川	岩見沢、深川、美唄、芦別
●苫小牧	浦河、白老、新ひだか

ご注意ください

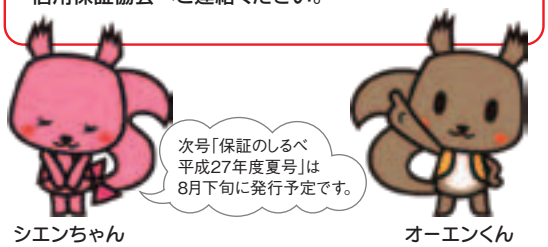
信用保証協会をご利用のお客様へ

■最近、悪質な仲介業者等、いわゆる金融あっせん屋が保証申込みにあたって、あっせんを行った手数料等の名目で、不法な報酬を要求する事例が発生しています。信用保証協会においては、保証にあたって所定の信用保証料以外には、手数料、入会金、あっせん料、仲介料等は一切いただいておりません。

■監督官庁および警察庁の指導により、第三者が介入、または相談窓口が認めた方以外の第三者が同席する案件には、応じられないことになっております。

■反社会的勢力は信用保証の対象となりません。

ご利用にあたって、ご不審な点がありましたら最寄りの信用保証協会へご連絡ください。



北海道信用保証協会

http://www.cgc-hokkaido.or.jp/

郵便番号　060-8670　札幌市中央区大通西14丁目1番地
電　　話　直通(011)241-5554・FAX(011)221-6998